中郷地区将来プラン2021の概要（フェイスページ・フレーム）

【10年後（2031年）の地域が目指す姿】

1　中郷区ならではの農林資源を活かした新たな特産品の提供等による地域内外の消費拡大
2　都市と農村の交流拡大と女性の活躍による新規ビジネスの創出と定住促進
3　担い手間連携や中山間直払集落協定の統合等による集落機能の維持と営農の継続

【基幹的農業従事者等の定住目標】

＜地域人口＞毎年７組の移住世帯を確保
⇒（30年後） 高齢化率：現在水準の40%程度　人口：現在の60%程度で安定
＜農業就業人口＞毎年２組（移住世帯の1/4）が就農　⇒現在の水準維持

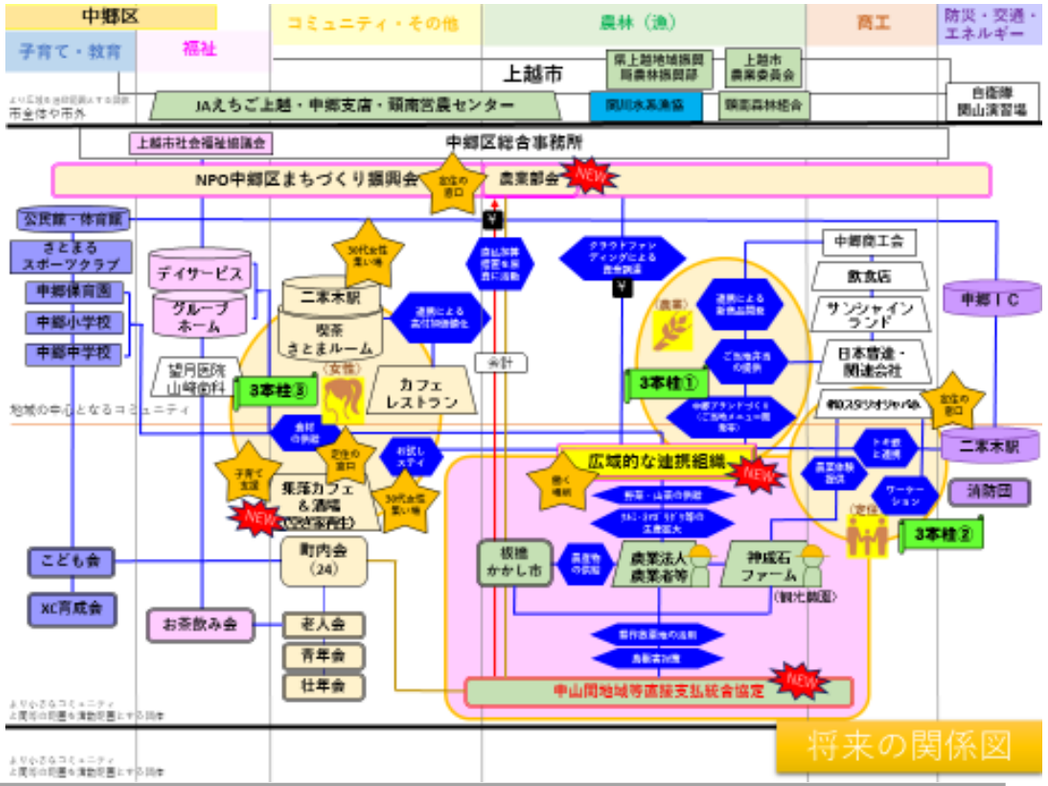
○　地域人口

・20代前半男女（２名）	３組
・30代子連れ夫婦（３名）	２組
・60代定年帰郷夫婦（２名）	２組

○　基幹的農業従事者数

・20代前半男女１組（２名）	0.6組
・30代子連れ夫婦１組（３名）	0.6組
・60代定住帰郷夫婦１組（２名）	0.6組

【2031年の地元関係図】



【目指す姿に向けた具体的な取組とスケジュール】

○　重点的に取り組む項目

1　「中郷ブランド」づくり
（農業の仕組みづくり）
（取組主体：　未定　）

2　都市農村交流の促進
（定住につながる仕組みづくり）
（取組主体：　未定　）

3　女性の活躍の場創出
（女性の活躍の場づくり）
（取組主体：　未定　）

4　必要な体制づくりや広域連携
（取組主体：　未定　）

○　具体的な取組スケジュール

重点取組	具体的な取組内容		
	短期的（１～３年）	中期的（３～５年）	長期的（５～10年）
1　「中郷ブランド」づくり ・特産品づくり ・ご当地メニュー開発 ・食材や弁当を学校や企業に提供	農 イベント開催（ネマガリダケを使った先行的な取組の実施等） コ 商工会、学生等との連携による独自性のある商品開発 コ 商工、観光業等の販路開拓支援 行 広報活動支援（イベント開催等）	農 商品開発に係る品目の生産（ネマガリダケやクルミなど） 農 既存の直売所の多角化（出張販売等） 農 鳥獣害駆除	（取組の継続）
2　都市農村交流の促進 ・グリーンツーリズムのビジネス化 ・ワーケーション誘致	農 ネマガリダケやブルーベリー収穫体験の提供 農 観光業者（スタジオジャパホ等）との連携強化 コ お試しステイの受入（二宮町との交流復活、田舎体験）	行 空き家情報の拡充と情報発信強化 ・空き家のリフォーム ・さとまる学校との連携 行 ワーケーションに必要な建物や通信環境の整備	（取組の継続）
3　女性の活躍の場創出 ・カフェやレストランの開設	【随時実施】 農 農産物や加工品の提供 コ 二本木駅内カフェとのコラボ企画の展開 二本木駅を拠点としたツアーの企画 行 起業希望者への支援 移住による起業者への初期経費支援		
4　必要な体制づくりや広域連携・条件整備	【随時実施】 農 中山間直払集落協定の統合等による広域連携組織設置 後継者不在の法人や担い手に対する支援体制構築（セーフティネット整備） コ ＮＰＯ等の組織内に農業部会を新設し地域マネジメント機能全般を担う（日本型直払事務、特産品開発等） 行 市の農政部門と地域振興部門、ＪＡ、振興局等で組織する支援チーム立ち上げ		

【凡例】
農：農業部門
コ：コミュニティ部門
行：行政関係